



令和7年1月10日発行

学校だより

第13号

江戸川区立松江第三中学校

〈 教 育 目 標 〉

- 1 素直で明るい、心豊かな生徒を育てる
- 2 自ら進んで、よく学びよく働く生徒を育てる
- 3 責任を重んじ、正義と規律を尊ぶ生徒を育てる

～ ともに生きる ～

校長 小澤 託

2025年という新しい年を迎え、3学期がスタートしました。

学校は、3月に卒業式を迎え、進級や進学のある新年度が始まる4月が1年のスタートのイメージが強く、サラッと新年が始まってしまいう傾向があります。しかし、新年度を迎えるためのこの3か月(3学期)が、実は非常に重要で疎かにできない期間だと私たちは捉えています。それぞれの学年でその重要性を理解し、学年全体、または、学級全体がどう過ごすべきなのかを考え、目標をもって過ごしてくれることを期待しています。

さて、今年は昭和から数えると丁度100年の節目の年。メディアでは、昭和100年問題、激動の昭和100年などと様々な取り上げ方をされておりますが、100年(1世紀)ですから、世の中も当然変わります。

石破首相が所信表明の演説の中で、日本全体の活力を取り戻すため「地方創生 2.0」を進めていくとありました。ある研修会に参加した際に、講師の先生がこんなことを言っておりました。“2025年以降は、人口減少の中で地方創生を目指す流れになるだろう。その地方創生という意味は、人口減少を緩やかに、そして、人口が減っても持続可能な地域をともに創っていくことだ。”と話しておりました。1月1日新春号の広報江戸川には、区長と中学生との新春座談会が掲載されており、内容は2100年の江戸川区がどうあってほしいか、という区の将来について話し合う内容でした。実はその座談会の中にも「ともに生きるまち」という言葉が随所に出ておりました。

これからの時代、多種多様な価値観や考え方の人たちとお互いに認め合い、協力し合って住みやすい社会を創っていくことが間違いなく求められます。だからこそ“ともに生きる”とか“ともに創る”というキーワードが様々な場面で語られ、話題に上ってくるのでしょうか…。それは、社会だけでなく、学校生活においても同じことが言えます。教室の中には、様々な家庭環境の中で育てられた生徒が集まり、それぞれが持っている考えや思いを伝えあい、理解しあいながら、居心地のよい学級を生徒たちで創っていきます。その考えや思いを伝えあう時間は、日々の教科の授業であったり、道徳や学活などの時間であったり、学校や学年の行事の取組の時間かもしれません。人によっては、友達と一緒に他愛もない話をする登下校の時間や授業と授業の合間の休憩時間かもしれません…。当然、意見のぶつかり合いや互いが理解しあうまでに時間がかかることもあります。しかし、その諍^{いさか}いを乗り越えることで、“ともに生きる”土台が作られていくのです。

これからの学校生活の中で、“ともに生きる”を頭の片隅に置いて過ごしましょう。

最後に…

3年生のみなさんへ

中学校生活の集大成である最後の3学期です。

ぜひ、“友と一緒に過ごす時間を大切に、共に励まし合ってそれぞれが進む路を切り拓いてください”

心から健闘を祈っています！！

【集会の様子から】

始業式や終業式などの儀式的な行事や全校朝礼などで全校生徒が体育館に集まる時があります。全校生徒が集まった時にこそ、その学校の生徒集団や学校の雰囲気に分かると言われるのですが…。様々な機会に生徒の皆さんの前で話すことが多いので、私自身が感じている変化をここで書かせていただきます。もちろん良い意味で、です。生徒の皆さんも読んでください。

- **話している人の顔をちゃんと見てる！**（話す人の顔を見るということは、“あなたの話を聞きますよ”という非常に分かりやすい意思表示です。どんな時でも話す人の目を見て聞けるようになったら、さらにGOOD!）
- **話の内容をちゃんと聞いている！**（ただ話す人を見ているだけではなく、ちゃんと話の内容を理解しようとしている。さらに、相槌や「同感です」という意味の笑顔が自然とできるようになったら完璧。社会に出たら、必要になってくる“聞く力”です）
- **話を聞く姿勢が良くなってる！**（座って話を聞くとなると、すぐにあぐらをかいて話を聞く人が多くなるのですが、体育座りで話を聞くことができている。集会だけではなく、普段の授業を受ける姿勢も良くなってもらいたい。姿勢は大事ですから）

以上の3点は、確実に良くなったと思います。さらに皆さんならできることを加えますので、次の集会には、ぜひ気を付けてトライしてみましよう！！

- **整列時に縦横をそろえる**（司会の先生や生徒会役員が、前ならえ～、と言わなくても、自分たちで縦横をそろえられると素敵です）
- **体育館にいる間は私語をしない**（静寂の中で集会を始め、落ち着いた状態の中で集会を終える。これ理想です）

～保護者・地域の皆様へ～

本年もどうぞよろしくお願いいたします。昨年からの引き続きになりますが、生徒の健全な育成と健やかな成長のため、より一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

さて、無事に新たな年を迎え、落ち着いた状況の中で3学期を始められました。短い学期ではありますが、3年生にとっては進路実現と卒業という、人生において大きなイベントを迎える節目となります。どうか、温かい心で生徒を支え、励ましていただければ幸いです。1、2年生においても、次年度に向けて心と体を整え、準備を進めていく大切な時期です。3年生同様、見守りながら、発破を掛けていただければ、と思っております。

早速、来週の1月18日（土）には、道徳授業地区公開講座を開催する予定です。お時間がありましたら、ご来校いただき生徒の様子をご覧になっていただければ、と思っております。多くの皆様のご来校をお待ちしております。